2026年11月13日

各　位

会 社 名　　株式会社ガーラ
代表者名　　代表取締役グループCEO キム ヒョンス
（コード：4777、スタンダード市場）
問合せ先　　取締役CFO 小笠原　一郎
（TEL. 03-6822-6669）

連結決算における営業外費用（為替差損）及び法人税等調整額の計上に関するお知らせ

当社は、2026年12月期第３四半期（2026年１月１日～2026年９月30日）の連結決算において、営業外費用（為替差損）及び法人税等調整額を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．営業外費用の計上について（為替差損）

2026年12月期第２四半期連結累計期間において為替差益57,122千円を計上しておりましたが（2026年８月14日公表）、その後の為替相場の変動（主にウォン高の進行に伴い、当社韓国支店のウォン建債務の円換算額が増加したこと及び韓国子会社の海外売上に係る外貨建債権等のウォン換算額が減少したこと）により、当第３四半期連結会計期間（2026年７月１日～2026年９月30日）において為替差損133,306千円が発生したため、当第３四半期連結累計期間において為替差損 76,183 千円を営業外費用に計上いたしました。

２．法人税等調整額の計上について

当第３四半期連結会計期間（2026年７月１日～2026年９月30日）において、税効果会計の適用に伴い、課税所得の発生による繰越欠損金の使用に伴う繰延税金資産の取崩し等により、法人税等調整額 24,665千円（費用）を計上いたしました。この結果、当第３四半期連結累計期間の法人税等調整額は104,658千円（費用）となります（第２四半期連結累計期間における計上額79,993千円（2026年８月14日公表）を含みます）。

３．業績に与える影響について

上記の金額は、本日発表いたしました「2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。なお、当社グループの2026年12月期の連結業績予想につきましては、合理的な算定が困難であるため公表を差し控えております。

以上